

広報特別委員会記録

令和5年9月4日

【開催日】 令和5年9月4日（月）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後1時5分～午後4時24分

【出席委員】

委員長	中岡英二	副委員長	福田勝政
委員	大井淳一朗	委員	奥良秀
委員	笹木慶之	委員	古豊和恵
委員	森山喜久		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】 なし

【事務局出席者】

局次長	中村潤之介	庶務調査係書記	若野みちる
-----	-------	---------	-------

【付議事項】

- 1 令和5年7月12、13、14日開催の意見交換会で聴取したモニターからの意見について
- 2 今後の中学生を対象とした本会議傍聴について
- 3 その他

午後1時5分 開会

中岡英二委員長 皆さんお疲れさまです。ただいまより、広報特別委員会を開催いたします。付議事項1番、令和5年7月12、13、14日開催の意見交換会で聴取したモニターからの意見について協議を進めていきたいと思ひます。資料1を御覧ください。市議会モニターから広報特別委員会に意見が出ております。これを一つ一つ協議していきたく思ひます。まず、一番上の「モニター意見への対応が不誠実である。会議録をしっかりと確認して」——ここまでは広聴特別委員会への意見です。「取り上げた意見を「議会だより」に掲載してほしい」という御意見が出て

おります。これについて、委員の皆さん、御意見はありますか。

大井淳一郎委員 現状は、議会だよりの14ページ、16ページだったりで、その中の1ページ、あるいは半ページの原稿を広聴特別委員会に書いていただいております。そこで、市議会モニターとの意見交換会の様子が記事として上がってきているわけなんですけど、どうしても全ての意見を載せるのは紙面上難しいところがあります。こういった意見を載せるかについては、恐らく、広聴特別委員会に原稿を依頼している関係上、広聴特別委員会で決められて抜粋されていると思います。可能であれば、紙面を増やすということも考えられますが、いずれにしても全ての意見は取り上げることは難しいのではないかと考えております。できる限り市議会モニターの意見を議会だよりに——恐らく、現在でもホームページ等に市議会モニターの意見は出ているのではないかとと思うんですが、現状を確認したいと思います。市議会モニターの意見や報告書はホームページにアップされていますか。

若野議会事務局庶務調査係書記 モニターの意見交換会が行われた後に、市議会モニターから頂いた意見を意見交換会報告書としてホームページに掲載させていただいております。以上です。

大井淳一郎委員 意見については、全てじゃないですけども、報告書で見ることができます。ただ、ホームページが見られない方もいらっしゃるんで、議会だよりに載せてほしいという意味でこの方は書かれています。先ほど申し上げましたように、紙面の関係がありますので、全てとはいきませんが、できる限り、皆さんの意見が取り入れられるように、場合によっては紙面を増やすことも可能ではないかと考えております。ただ、あくまでも議会だよりのためですので、全ての意見を載せることは難しいのが現状だと思います。以上です。

中岡英二委員長 今、大井委員から御意見がありました。全てを載せることは

難しいんじゃないかということですが、現状は約半ページほど広聴特別委員会のスペースとして取っておりました。紙面に限りはあるかもしれませんが、これからは、できるだけ市議会モニターの意見が多く載るように——例えば、紙面1面分を取るなど、可能な限り、広報特別委員会として議会だよりの掲載の仕方を考えていったらどうかなと思います。

森山喜久委員　ですので、あくまで広聴特別委員会に対して、紙面を割り振って、それに対して掲載してもらおうと。ですから、レイアウト段階のところ、1ページになるかどうかなのかということもあるでしょうけど、そういう形でよろしいんですね。

中岡英二委員長　森山委員の言われたとおり、広聴特別委員会に原稿の依頼をして、多ければこちらでスペースを割くという考え方です。ほかにありますか。

笹木慶之委員　委員長に申し上げます。会議の進め方なんですけど、委員長が結論をすぐ出したら議論にならないじゃないですか。委員の意見をまとめるのが委員長だから、そういう方向性でまず進めてもらいたいということ……

中岡英二委員長　今、結論を出したつもりはないですよ。大井委員、森山委員の言ったことを復唱しただけで、これで決定という考えではないですよ。

笹木慶之委員　委員長が紙面を広げたいという発言をされました。そうではなく、議論をしっかりと尽くした中で結論を出すべきです。そういう方向性に持って行ってほしいということです。もう1点は、一番目の前段が広聴、後段が広報と書いてあるけど、この文章は一連のものです。前段、後段と分けるものではないです。「モニター意見への対応が不誠実」ということが前段にあって、その中身を「しっかり確認して、取り上げた意見を掲載してほしい」と書いてあります。これは一連のものとして捉

えていくべきと私は受け止めます。そして、市議会モニターの意見は広報特別委員会がダイレクトに受けるわけではなく、広聴特別委員会を通します。だから、広聴特別委員会から広報特別委員会に来るわけですから、広聴特別委員会としっかり協議しないと決まらないと思いますよ。いきなり、モニターの意見を広報特別委員会が受けるわけじゃないです。ただ、そこで、全体的な紙面等の問題もあるから、しっかり調整してということで、例えば、ほかの委員会の取りまとめも各委員会がまとめているじゃないですか。まとめたものを広報特別委員会に出してくるという形ですから、そのパターンはどのように考えますか。私はそう思いますので申し上げておきます。

大井淳一郎委員 今、笹木委員が言われたことなんですけど、広聴特別委員会で市議会モニターの意見が挙がってきます。それを各委員会に振り分けた上で、「前段広聴、後段広報」と書いてあるのは、広聴特別委員会の中で協議して、恐らく、前段は広聴特別委員会で対応し、後段は広報特別委員会に対応をお願いしますということで、この文書が回ってきています。今ここに挙げられているのは、私たちがやるものだけが載っていると考えております。ですので、既にすみ分けされていると御理解いただければと思います。

笹木慶之委員 そうすると、「モニター意見への対応が不誠実である」ということと、後半に書いてあることは別のことですか。

大井淳一郎委員 もちろん、私は広聴特別委員会ではないので分かってはいないんですけども、この前段は広聴特別委員会で対応する事柄だということですか。

笹木慶之委員 別問題となっているということですか。（「そうですね」と呼ぶ者あり）つながっているわけではないんですね。

大井淳一郎委員 恐らく協議した中で、前段は広聴で……（発言する者あり）
繰り返しになりますが、広聴特別委員会の中でモニターの報告書が上が
ってきて、それを振り分ける中で、広聴特別委員会の中で議論し、前段
は広聴特別委員会、後段は広報特別委員会として挙がってきている文書
だと理解します。ですから、私たちは後段の「会議録をしっかりと確認し
て」は分かりませんが、「取り上げた意見を「議会だより」に掲載して
ほしい」ということを対応すればよろしいかと思えます。

笹木慶之委員 今、大井委員が言われたことがそのとおりであれば問題ないで
すけど、私がこれを読んだ限りでは、一連のものとして受け止めました。
それは間違いなければ、それはそれで置きましょう。

中村議会事務局次長 大井委員の発言のとおりです。

中岡英二委員長 今、言われたように、前段は広聴特別委員会、後段が広報特
別委員会ということで御理解ください。

奥良秀委員 今、議論になっている「掲載してほしい」についていろいろな御
意見を頂いている中で、何を尺度として意見を載せるかについても話を
していかないと。何でも出れば載せるのでしょうか。どういうふうなお
考えなんでしょうか。

大井淳一郎委員 現状は広聴特別委員会に原稿を依頼して、広聴特別委員会で
判断しています。例えば、市議会モニターからの意見は広聴特別委員
会で選ばれています。奥委員の言われるように、どういった判断基準で
抜粋しているかは、広聴特別委員会で決められていると思います。恐らく、
一般読者が読んで、一般的な意見とか——その辺の判断がちょっと難し
いんですけれども、その辺は広聴特別委員会の裁量に委ねられているこ
とは否めないかなと思っています。

奥良秀委員 今回の発言がある中で、あくまで広報特別委員会としては、広報特別委員会に出された御意見を広報特別委員会の中で熟議して、答えを出したものを広聴特別委員会に戻して、広聴特別委員会がその中で選択されて載せられるということによろしいでしょうか。

大井淳一郎委員 広聴特別委員会に依頼して、広聴特別委員会の中で議論して抜粋した原稿が広報特別委員会に上がってきます。私たちはそれを追認するのではなくて、議会広報として耐え得るものかというのは、やはり、二重のチェックを入れて、よりよいものにしていく必要があるかと思えます。場合によっては、過去にもありましたけど、意見の差し替えとか、文章を削ることもあったと思います。それは両方でやるべきと思っています。以上です。

奥良秀委員 理解できました。

中岡英二委員長 ほかに何か御意見はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）
それでは、今出た御意見の中で、今まで取り上げた意見を広聴特別委員会から案を頂いて、紙面的には増やせるという考え方でよろしいですか。

若野議会事務局庶務調査係書記 広報特別委員会がレイアウト会議をされると思います。レイアウトに沿って、特別委員会、常任委員会に原稿を作成していただきます。広報特別委員会としてその意見を反映させることができるかは、レイアウトや紙面のスペースがつくれるかの問題がメインだと思います。内容については、先ほど大井委員が申し上げたとおり、広聴特別委員会で精査されると思いますので、広報特別委員会として対応できる紙面についてまとめていただけたらと思います。

中岡英二委員長 紙面はできる限りの対応をしていくと。今までは、半ページでしたが、できるだけモニターの意見を載せられるように対応していきたいと思いますが、よろしいですか。その辺の御意見があれば。レイア

ウトに関することです。（発言するものあり）

笹木慶之委員 先ほども言いましたが、この広報というのは、いろんな角度から原稿が上がってくるわけです。その中で、全体的な紙面が決まるわけですから、内容に応じて適切に審査した中で、必要と思われるものについては掲載していくという方向性について私は変わらないと思います。だから、このモニターの意見にしても、もちろん可能な限り取り上げていくという方向性はあったとしながらも、質と量の問題ですから、中身をしっかりと審議した中で、紙面の可能性を求めながら対応していくということが大事だと思います。上がってきたものを全て出すという形には、なかなかならないかもしれません。それは、全体の紙面があるからです。だから、内容をしっかりと審査した中で、やはり記載するにふさわしいものについては適切に対応していくという姿勢が私は必要だろうと思います。

中岡英二委員長 今、笹木委員の御意見は、レイアウトに関しては内容に応じて、全体的にどれぐらいのレイアウトにしていくかということを広報特別委員会として検討していくということです。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、二番目の「市議会議員の仕事を市民に分かりやすく掲載してほしい」という御意見に対して、何か御意見がありますか。

大井淳一朗委員 割と多くの自治体でキッズページを使って、市議会の役割とか、これは主に子供向けのページなんですけど、載せているところがあります。ただ、これは子供だけに限ったものではなくて、市議会は一体何をしているのか分からないという方は、私も正直この世界に入るまでは分かっていませんでした。やっぱり、そういったものを改めて何か載せるのは必要ではないかと思います。具体的に題材となり得るのは、先日行われました中学生の傍聴のときに、事務局が中心につくっていただいた資料がありますので、そういったものを使いながら、市議会の仕事

について特集で組んで、議会だよりに掲載していったらいいのかなと思います。以上です。

奥良秀委員 私も意見を見たときにすぐ思い浮かんだのが、つい最近あった中学生を招待してやったときの説明の仕方が一番ふさわしいのかなと思いました。この御意見を書いた方が、どのぐらいの年齢層が分かりませんが、誰もが分かりやすい説明をしてあげるのが一番よろしいかなと。そこから、また少しずつ段階が上がっていけばいいのかなと思っておりまので、先ほど、大井委員が言われたとおりのものを説明していただければと思います。

中岡英二委員長 今、大井委員が言われたように、新たな中学生議会とか、子供が中心になったイベントについて、これから新しい紙面コーナーをつくるということにも関わってくると思いますが、そういう御意見だと私は理解しております。

大井淳一郎委員長 載せるタイミングなんですけれども、3月、9月は予算決算がありますので、6月、12月のいずれかのところで特集を組まれたらよろしいかと思います。見開きの1、2ページ目から3ページですね。そこで改めて市議会とはどういうものなのか、私たちも原点に帰る意味では、ちょうどいい題材ではないかと思います。以上です。

古豊和恵委員 特集を組むのと別に、例えば、連載、つまり何回かに分けて、「続きは次号です」みたいな形にできるのであれば、それも面白いかなとも思ったのですが、いかがでしょうか。

中岡英二委員長 今、委員の中で、特集、連載のコーナーをつくったらいいんじゃないかという御意見が出ましたが、それに関して、何かありますか。

森山喜久委員 特集にするのか、連載するのは、この前、事務局に作成して

いただいた資料のボリュームを全体的に確認しながら、どこを載せていくか、全部載せるのかを検討していけばいいのかなと思います。ですので、大井委員が言われたように、12月議会からスタートしてもいいのかなと思っています。事務局に確認なんですけれど、このたびの中学生の皆さんに配布した資料は、ホームページに掲載はまだしてないんですか。どうでしたか。

若野議会事務局庶務調査係書記 ホームページには掲載しておりません。以上です。

森山喜久委員 ですから、最初に大井委員が言われたように、市議会モニターからの意見という形にはなりますけれど、ホームページにキッズページの枠を作成することも検討していく必要があるのかなと思います。

中岡英二委員長 今、キッズページをホームページ等でも掲載していったらどうかという御意見が出ました。

大井淳一郎委員 森山委員の言うとおりになんですけれども、この回答に関しては、「議会だよりの特集を組ませていただきます」と回答すればよろしいと思います。森山委員の言われたキッズページは、また私たちの委員会で、引き続きやっていきましょう。

中岡英二委員長 ほかに御意見がなければ、新たな特集を組んで、新たな紙面のコーナーを作るといふことでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは三番目の「若者が興味を持ち、読みたくなるような内容にしてほしい」に対して御意見はありますか。

大井淳一郎委員 これについては、例えば、私たちが「若者はこれが読みたいたろう」と判断して載せるのはよくないと思っています。やはり、若者がどういったものを望んでいるかを直接聞くのが一番いいんですけれど

も、この取っかかりが難しい。というのは、あくまでも意見を聞くのは
広聴特別委員会の役割です。若者の意見をどのように把握して、それを
最終的に議会だより等に載せていくかは、広聴特別委員会との共同作業
になってくるかなと思っています。ただ、私たちは議会だよりというツ
ールを使って、例えば、議会だよりを理科大生とかに読んでもらって、
「改善すべきところはないか」、「どういったものやったらいいか」と
いう形で、若者の意見を聞くことは、私たちの委員会のできるのではな
いかと思っております。若者が興味を持つ、読みたくなるような内容に
する前提として、若者のニーズを把握する必要があるからという前提が
要るかなという意味で述べさせていただきました。以上です。

森山喜久委員　こここのところ、二つ下の「若者からどんどん意見を聞いて、そ
の意見を掲載してほしい」という意見とリンクすると思うんですよね。
ですので、若者からどんどん意見を聞くことで、若者が興味を持っている
のか、そういった部分を意見として掲載していくということを含めて、
どういうふうな手法がいいのか広聴特別委員会と改めて協議していくべ
き案件なのかなと思います。

奥良秀委員　進め方がよく分からないんですが、あくまで広聴特別委員会が確
認して、広報特別委員会に振り分けられている内容だと認識しています。
今、委員の中で「広聴特別委員会にもう一度確認」という発言があった
んですが、意味が分からないので教えてもらえますか。

大井淳一朗委員　言われるとおり、これは最終的に広報特別委員会に投げられ
た課題だと思っています。「若者が興味を持ち、読みたくなるような内
容にする」ためには、私たちが独りよがり、「これがいいだろう」と
思ったらそうではないことはよくありますよね。だから、若者の意見を
聴く必要がありますが、「聴く」のは広聴特別委員会がすることと思っ
ているので、今、森山委員が二つ下のところで、若者からどんどん意見
を聞いてというところが広聴特別委員会、それを載せるのが広報特別委

員会というところで、どうしても役割分担があるかなという意味で言わせていただきました。だから、読みたくなるような内容にする前提として、若者のニーズを把握する必要があるけれども、それは広聴特別委員会の役割だから難しいよねという意味で述べさせていただきました。以上です。

奥良秀委員　そうであるならば、広聴特別委員会に一度お戻しして、意見聴取していただく。あくまで広報特別委員会ですから、どのように議会だよりに載せていくのかということ、ここで話し合うんだと思いますので、そこら辺は両委員長でお話ししていただければいいんじゃないかなと私は思うんですが、いかがでしょうか。

中岡英二委員長　今言われたことは、両委員長で話をする場を持って進めていくという御意見が出ました。

大井淳一郎委員　広報特別委員会に投げられた「議会だよりの中に、若者が興味を持ち、読みたくなるような内容にしてほしい」と問いかけられています。これに対する回答は、「そのようになるように努力します」くらいしか言えないんですよ。ただ、回答はそれしかできないんですけども、実際にこれを本当に進めていくためには、どうしても広聴特別委員会の協力が必要かなというところがありました。今言われたように、お返しするというのもいいんですけども、回答としてすれば、「そのような内容になるようにやっています」としか、現時点では言えない。ただ、答えるだけじゃいけないから、奥委員の言われるように、広聴特別委員会と共同作業で、若者にアウトリーチしていくような試みをやっていきましょうよとか、そういうことになるのかなという感じです。以上です。

奥良秀委員　大井委員が言われるとおり、大体答えが、「今からやっついていかないとイケませんね」となると思います。いろいろあるんですけど、広報

特別委員会がすることと広聴特別委員会がすることは、ある意味、分けておかないと。なぜ2委員会が分かれて、分担制になっているのか、私としても意味が分からなくなります。三番目のところでは、読みたくなるような内容を広聴特別委員会が若い人から意見聴取していただいて、載せていければいいなと思ったので、意見させていただいております。

大井淳一郎委員 たしかに、奥委員の言われるとおりです。ただ、私たちは議会だよりというツールを持っています。例えば、理科大に行って、議会だよりを読んでもらって、「何か意見をくれないか」という形で出かけて、若者代表としての理科大生の意見を聞くことができるかと思えます。ですから、私たちもできることはあると思っています。以上です。

笹木慶之委員 「若者が興味を持ち、読みたくなるような内容」というのは、「若者も」なんですよね。市民は、老若男女おられるわけだから、市民の皆さんが興味を持って読んでいただけることが広報の原点じゃないかなと思います。ですが、もちろん若者の興味を引くものであってほしいということもあるんだけど、これだけじゃないわけです。だから、この辺はもっと幅広く受け止めて、皆さんが興味を持って読んでもらえるようなというぐらいの意識でないと。これを見ると、若者が興味を持っていないんじゃないかという感覚を受けますが、その辺、皆さんどうお考えですか。我々は今までこの議会だよりをつくる時には、決して年齢にかかわらず、広く市民に読んでいただけることを前提に考えてきましたよね。ということになれば、やっぱりここの質問が何を聞いているのかよく分からない部分があります。だから、さっき大井委員が言われたように、若者の意見を聞くのも必要かもしれませんが、若者だけではなく、いろんな方もおられるわけだから、表現の仕方を「市民がもっと興味を持って」という感覚で受け止めていかないと、偏り過ぎかなという気がするんですが、皆さんどう思われますか。

大井淳一郎委員 私も断定はできませんが、恐らくこのような意見が出るのは、

議会だよりを読まれている方は高齢者——投票権にもつながるかもしれませんが、若者はあまり議会だよりに興味を持ってないのではないかと
思って、こういう意見が出ていると思います。ですから、言われるとお
り、私たちは若者だけのためにつくっているわけではありませんが、若
者にも興味を持ってもらう内容を私たちも考えてつくっていきなさいい
けないというのがあります。どうしても、取っかかりとして、私たちが
若者にアプローチして何かできないかという動きが必要ではないかとい
うことで、さっきから話が出ていると思います。そういう意味だと思っ
ています。以上です。

笹木慶之委員 そうすれば、当然、先ほどありました広聴特別委員会にもう一
度よく相談して、広聴特別委員会からしっかりした対応がないと、なか
なか動きづらいです。だから、広報特別委員会だけでは動けない、広聴
特別委員会と連携して動いていくということになりますよね。

大井淳一朗委員 状況によると思います。議会だよりというツールを使って、
議会だよりに特化すれば私たちだけでも行けますが、主権者教育という、
もっと大きな意味で捉えるならば、言われるとおり、広聴特別委員会と
の共同作業が必要ではないかと思っております。ですので、今二つ下に
森山委員から御指摘がありましたように、「若者からどんどん意見を聞
いて、意見を掲載してほしい」というのは、どうしても二つの委員会の
共同作業、若者の意見を拝聴するのは広聴特別委員会にお任せするべき
だと思うんですよね。そこでの記事を広聴特別委員会に書いてもらって、
私たちがチェックして議会だよりに載せていく、あるいは別の媒体に載
せていく、そういった役割分担かなと思っております。以上です。

中岡英二委員長 ほかにありますか。今出た意見の中で、若者への意見を拝聴
するのは広聴特別委員会であり、それを反映させていくのは広報特別委
員会、どちらも広聴特別委員会と広報特別委員会が連絡を密に取って広
げていくのがいいんじゃないかと私は取りましたけど、ほかに何か御意

見はありますか。

奥良秀委員 委員長に確認したいんですが、意見に対してどういうふうに回答を求めていくかという委員会進行だと思うんですが、この次の議会だよりはにこういったことも載せられるんでしょうか。意見の回答ということで。

中岡英二委員長 20日に広聴特別委員会に一応お返しして、答えを求めるとのことなので、今日、結論が出なければ、それまでにもう一度、委員会をやるつもりですけども、一応、広聴特別委員会から御依頼があったので、返答したいということで、今日話しています。

奥良秀委員 もう一度確認したいんですけど、最初の意見のところ「取り上げた意見を「議会だより」に掲載してほしい」ということがあって、決定は広聴特別委員会になるんでしょうけど、今、これはいろいろと意見交換をしながら答えまで行くわけですね。だから、もちろん今回、出た意見ですから、議会だよりに載せるのか、載せないのか、どうなのか分からないので教えていただきたいんですが、いかがですか。

中岡英二委員長 今日の会議の内容をですか。

中村議会事務局次長 まだ広聴特別委員会で次の意見交換会をいつするのか決めていませんけど、恐らく定例会が終わった次の月の中頃に意見交換会をするでしょうから、そのときにはこの回答ができておるものについては、お出しするという流れになろうかと思います。ですので、意見交換会までに、こちらの委員会で回答できるものを決めておいていただかないと、広聴特別委員会でお話ができないので、意見交換会にも当然出せなくなります。

奥良秀委員 最終的にどうなるかは先のことで分からないんですけど、やはり

三番目の御意見のところ、**「若者が興味を持ち」**というところで、先ほど笹木委員からも言われたとおり、議会だよりを読まれるのは若者だけではないので、若者もしかりの中で、市民全体が読みやすくいうことを回答の中に入れていったほうがいいのかと思います。

中岡英二委員長 分かりました。若者も市民も読みたくなるような内容に変えていくと。ほかに御意見はありますか。それでは次の**「若者のタイムリーな活動の写真などを表紙に掲載してほしい」**という御意見に対して、何かありますか。

大井淳一郎委員 これは表紙の題材ということになります。過去はツツジとか、風景の写真を載せていました。ただ、議会だよりは議会の活動を発信するものなので、議会の本会議、委員会、議会報告会の模様とか議会の活動の写真を載せていました。ただ、限界というか、面白みが欠けるので、今の來嶋さんのイラストになっております。幾つか下のところにもあるんですが、意見の中には、イラストではなくて写真のほうが良いという意見もありますので、もちろん賛否両論あるかと思えます。來嶋さんのイラストは、議会の活動というよりかは、市内のイベントとか、魅力を発信という意味でイラストを載せていっております。ですから、それありきではなくて、私たちが今後、表紙をどういったものを打っていくか。結局、來嶋さんのイラストを選んだ理由は、手に取って、何だろうと思うとききっかけづくりにしたという経緯があります。ありきたりの写真ではなかなか埋没してしまうという思いから、今のやり方変わっています。一番の私たちの狙いは、どうしたら手に取ってもらえるかというところにありますので、そういったものを中心に目的として表紙については議論していかなくてはいけないかと思っております。今のやり方ももちろんいいと思えますし、もっといいものがあれば、それに替えてみるのも一つではないかと思えます。その中の一つが若者のタイムリーな活動の写真ということですので、許可の問題とかもありますけれども、それは議論することもあろうかと思えます。以上です。

中岡英二委員長　今言われたのは、今までの表紙は手に取りやすいようにイベントとか、子供が遊んでいるところを掲載しています。表紙を何かしら変更していったほうがいいんじゃないか、もちろん若者のタイムリーな活動も含めて変えていったほうがいいんじゃないという御意見ですよね。その辺どうですか。表紙に関して何か御意見はありますか。

奥良秀委員　本来であれば、何かしら議会に関係があるようなもののほうが議会だよりの表紙としてはふさわしいのかなと思います。直近で出した議会だよりは、中学生が議会を傍聴している表紙になっておりまして、当市議会に関係あるようなことが載ってあったので、ふさわしいのかなと思いました。若者のタイムリーな活動の写真もある中で、先ほど来、私が言ったように、若者だけじゃなく、市民の方がいろいろな活動をされているんですけど、それが果たして議会だよりの表紙にふさわしいかどうかと言ったら、いろいろと御意見があるのかなと思いますので、その辺は表紙を検討していかないといけないのかなと思いました。だから、ここでは「検討していきます」となるんだと思いますが、委員会でもやっぱりきちんとその辺はルールづくりというか、やはり議会だよりの表紙も読んでもらうためには大事な一つのツールだと思いますので、きちんと考えていったほうがいいなと思います。だから、私としましては、議会に関する写真のほうがいいのかなと思います。

中岡英二委員長　奥委員から、表紙に関しては議会に関するものに変えたほうがいいんじゃないかという御意見がありました。表紙の変更も含めて御意見はありますか。なければそういう方向性でいきます。若者に限らず、議会活動——以前は、委員会とか先ほど大井委員が言われたように、委員会とか、会議をする写真が多いです。

古豊和恵委員　この議会だよりを見ますと、以前は写真であったり、そのときそのときで、この表紙を写真にするかイラストにするか工夫されています。

ずっと写真だと、だんだんマンネリ化してきます。少し変えようかなという意見が出てくるのかなとも思いますので、今はそういう写真がいいという意見が多いのであれば、変えてもいいのではないかなとも思います。

中岡英二委員長 それでは、委員会としては、表紙は議会活動の写真を中心に切り替えていったほうが良いという御意見が多いようですが、そういう結論でよろしいですか。それではここで暫時休憩します。

午後 1 時 5 1 分 休憩

午後 2 時 再開

中岡英二委員長 それでは、委員会を再開いたします。それでは、「若者のタイムリーな活動の写真などを表紙に掲載してほしい」というところから始めたいと思いますが、御意見はありますか。

笹木慶之委員 この意見そのものを見ますと、決して否定するものじゃありませんが、これはこれとしていいと思うんですけど、タイムリーな活動の写真となっておりますが、いろんな角度から考えるべき余地のあるものだと思います。やはり読んでいただくためには、表紙の重みといいますか、在り方について非常に重要な案件ですから、いろんな角度からしっかり検討して、より適切な対応に努めていくべきだと思います。もちろん、ここに書いてある若者のタイムリーの活動の写真というのも一つの現象面でしょうけど、もちろんこれも取り入れた中で、その時々によさわしいものにするために、しっかり議論して決めていくべきだと僕は思っております。以上です。

中岡英二委員長 今の笹木委員の御意見でその答えとさせていただきたいと思っております。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、「若者

からどんどん意見を聞いて、その意見を掲載してほしい」については、ちょっと重なる部分がありますので、簡略してよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次は、しっかり予算措置をしてもっとカラー紙面を増やしてほしいということです。現在、表紙はカラー、中身が白黒ですけど、予算措置について事務局に聞いていいですか。何色にしたらどれぐらいとか、その辺ないですか。

若野議会事務局庶務調査係書記 昨年度中に印刷会社から参考までの価格を聞いてみました。表裏のフルカラーと中の白黒から——例えば、市の広報みたいに、表裏カラーと中だけ一色使う、緑と黒を使っていると思うんですけど、1ページ当たり6,000円の差がありました。オールカラーにしたら、2万1,000円。今言ったのは、1ページ当たりなので、掛ける16ページ、掛ける4定例会分の回数の発行となると、金額的にはかなり上がると思います。以上です。

中岡英二委員長 予算はこれぐらい増えるということ踏まえて、もっとカラー紙面を増やしてほしいということに対して御意見があれば、お聞きします。

大井淳一郎委員 今、事務局からありましたように、コストの面だけを見ると、非常に開きがあるので、なかなか実施は難しいと思っております。ただ、この方は何とかカラーのページをもっと見たいという意見です。それはそれで貴重な御意見だと思っております。参考までに言うと、カラーの紙面なんですけれども、紙媒体では中身は2色刷りで、恐らく、インターネット上、スマホとかマチイロアプリとかもカラーだと思うんですが、その辺いかがですか。中身もカラーだと思うんです。

若野議会事務局庶務調査係書記 昨年まではフルカラーで、電子のほうは見えていたんですが、印刷会社が変わった関係で、紙と一緒に形態になっております。以上です。

大井淳一郎委員 今年から体裁が変わったようですね。そこは私も失念しておったんですが、貴重な御意見ではあるんですけど、コスト等の問題があるので、その辺を比較しながら検討していくぐらいしか言いようがないのかなと思っております。直にやりますとも言えないし、貴重な御意見なのにやらないとも言えないので、これはやっぱり費用の関係との相談になると思います。

若野議会事務局庶務調査係書記 例えばなんですけれど、今のカラー紙面の割合は変えずに、今、表紙と背表紙がカラーになっています。表紙を変えることは言われたように、なかなか難しいと思うんですけど、写真にするかイラストにするかになると思うんですけど、背表紙に今載せているのが、基本的には賛否の分かれた議決結果と、定例会の日程と編集室より、表紙の説明が基本的な構成になっています。せっかくのカラーのページになるので、カラーを生かした内容にするというのも一つの手かなと思うんですけどいかがでしょうか。

大井淳一郎委員 イメージとすれば、多分紙があって重ねているから、表紙と裏がちょうど1枚の紙でなっています。カラーだからいいけど、すごいかな。白黒。ほかのところから出したらどうかってことよね。

若野議会事務局庶務調査係書記 今、申し上げたのが、議決結果、定例会の日程、編集室と今決まった構成になっているものを、例えば、議決結果を前のページの白黒のページに半分載せて、空いた半分以上何か別のカラーを生かした写真などを載せられるような内容にしてみるというのも一つの手かなと思っているということです。

大井淳一郎委員 意味が分かりました。あくまでも表紙と裏はカラーなんだけれども、せっかくカラーが使えるんだから、そういったカラーを生かしたらどうかという事務局の提案なので、その辺りは、私たちが工夫して

編集を考えていかなきゃいけないと思いました。以上です。ちなみに実際、裏の一番上のところは、議決結果はあまり載せてなかったです。トピックを載せていたんですけども、今回みたいに議決結果が来ちゃうこともあったんで、編集作業の話になると思いますが、できる限りトピック的なもので一番後ろのページを生かすということも考えなきゃいけないと思いました。以上です。

奥良秀委員 御意見は御意見で承るんですが、もっとカラー紙面を増やしてほしいという言葉の前段か何かがあるんじゃないのかなと。要は、白黒だったら見にくいとか、カラーだったらもっと華やかだとか何かいろいろあつての意見なのかどうか。これだけでは、カラー紙面を増やしてほしいということなので、御意見されている方にとって、カラーにした効果、効果があるのか分かりかねます。

中岡英二委員長 暫時休憩します。

午後 2 時 1 0 分 休憩

午後 2 時 2 0 分 再開

中岡英二委員長 それでは、委員会を再開いたします。しっかりと予算措置をして、もっとカラー紙面を増やしてほしいという御意見に対して、委員の方で意見があればお聞きします。

笹木慶之委員 私はしっかりした予算をとということで、予算確保できていないんじゃないかと言われておるように思われます。したがって、必要な予算の確保には努力しますが、必要とする経費の問題も考慮せざるを得ないような背景を踏まえて、より適切な対応に努めますというような形で——予算を確保するけれども、それは必要とする予算であって、内容に

についてはもちろん言われていることもよく分かるんだけど、しっかり広報特別委員会の中で議論しますということぐらいでないと、言い切れないだろうと思います。だから、僕はその程度の答えになるんじゃないかなと思います。ですが、もちろん最善を尽くして、努力するという必要は必要ですから、いろんな工夫をしてやろうと思います。

中岡英二委員長 笹木委員が言われたことで、何か異議がありますか。なければ、これをまとめとしたいと思います。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、次の「請願の内容、結果、その後の進捗を詳しく掲載してほしい」という御意見がありますが、今までの請願の内容結果は記載していたと思います。その後の進捗状況を詳しく掲載してほしいということなんです。委員の皆さん、御意見はありますか。

大井淳一郎委員 今、委員長が言われたように、請願の内容、結果は私たちの担当委員会の中でやられた、特に話題性のある請願については、詳しく載せてきたところがあります。ただ、その後の進捗については載せているところもあれば、載せていないものもあるという認識です。ですので、もちろん載せるかどうかは最終的には広報特別委員会の判断になると思うんですけども、なるべくその後の状況、進捗も踏まえて、目を向けて必要に応じて記載していく方向性が適切ではないかと考えます。以上です。

笹木慶之委員 私も全くそのとおりだと思います。

奥良秀委員 掲載するのは広報特別委員会なんです。請願を採択して、議論するのは各担当委員会になると思いますので、そこは各担当委員会にこういった御意見がある中で、進捗も出さなくちゃいけないものは——委員会レポートとかいろいろあるので、そういったものを活用しながら、出していただけるように打診していただければいいのかなと思います。

大井淳一郎委員 奥委員の言われるとおり、担当委員会でその後の進捗を見る
ときに、所管事務調査をして、その後どうなったかと聞いている場面が
あるかと思います。そういったものを活用しながら、これは載せる必要
性があるなど思ったものについては、議会だよりの掲載の方向に持って
いくのが適切ではないかと考えます。最近では猫の助成、有害鳥獣につ
いては載せておりますが、今後も請願等が上がってくることもあります
ので、その後の進捗状況にも目を向けていきたいと思っております。以上です。

中岡英二委員長 ほかに御意見はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）今、
言われたように、請願の内容によっては載っているものがありますが、
その後の進捗状況も委員会に原稿として出していただいて、必要であれ
ば、それを広報特別委員会が議会だよりで伝えていく方向でいいですか。
そういう御意見が出ましたが、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あ
り）それでは、次の「市民から多様な意見を聞くために、要望書や陳情
書、請願書などの制度があることを市民への周知に力を入れてほしい」
に関して御意見はありますか。

奥良秀委員 二つ目だと思いますが、市議会議員の仕事を市民に分かりやすく
掲載してほしいに関連してくるものだと思います。こういったものの中
にも、市議会、市議会議員の活動の簡単な説明文とかも入っております
ので、それと一緒にやっていただければいいのかなと思っております。

中岡英二委員長 よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）今言われた市議
会の仕事の内容を含めて、こういう要望書や陳情書、請願書の制度を市
民への周知に力を入れてほしい。周知の仕方は、議会だよりのほかにも
FMスマイルウェブ、ホームページでの周知にも力を入れていく
ということかなと思うんですけど、その辺はどうなんですか。議会だ
りだけでよろしいですか。

大井淳一郎委員 うちもそうなんですけれども、多くの議会で請願書や要望書

の請願の書き方は載せてあります。見やすくすることは、ホームページ上、可能ですので、キッズページとかの話も先ほどありましたが、そういったものの機会、ホームページの改良に着手していかなくちゃいけないと思っております。たしか載っていると思います。事務局で現状を答えられますか。

若野議会事務局庶務調査係書記 先ほど委員長が言われたとおり、FMスマイルウェブでは、毎回、請願、陳情、要望については周知しているところです。ホームページについては、「当市議会に提出することができます、請願は1人以上の議員からの紹介が必要です」という簡単な説明文と書き方は記載しております。以上です。

中岡英二委員長 それでは、広報特別委員会として市民への周知に力を入れていくという方向でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、「議会だよりの表紙はイラストより写真のほうがよいのではないか」について、先ほどから御意見が出ております。「また、ウェブ方式での読書アンケートにすると若者の意見を聞きやすいのではないか」という御意見が出ておりますが、これに関して委員の御意見をお聞きします。

奥良秀委員 後段部分、アンケートに対しては、どちらかというところと広聴特別委員会ではないのかなと思っておりますが、いかがでしょうか。

中岡英二委員 委員の皆さんはどのようにお考えですか。広聴特別委員会ではないかという意見が出ました。

笹木慶之委員 前段については、先ほど回答を書きましたよね。だから、それでいいと思います。後段については、「ないか」という疑問が投げかけられておりますが、慎重に対応してみるということぐらいじゃないと言えないじゃないですか。だから、やっぱり現実問題としてしっかり検討してみたいと終わらせてしまわないと、これ以上進んでも答えは出ない

と思います。

中岡英二委員長 今、笹木委員から後段のウェブ方式での読者アンケート云々は、広聴特別委員会で慎重に審議して、広報特別委員会で慎重に検討していくということなのですが、ほかに何か御意見はありますか。

森山喜久委員 ウェブ方式の読者アンケートは、議会だよりに関しての読者アンケートという意味合いじゃないんですか。（発言する者あり）ですよね。それについて確認ができました。意見を聞くと、慎重審議するということで、お返しすることによいと思います。

中岡英二委員長 森山委員も笹木委員と同じような御意見ですが、委員会としてそういう方向でいいですか。それではそういう方向でいきます。「議会だよりの裏面のお知らせや議決結果を大きく表示してほしい」という最後のページのところですね。議決結果は議決が分かれたもので、全て載せているわけじゃないんですけども、その辺を大きくしたらどうかという御意見があります。

中村議会事務局次長 何回前か覚えていませんけど、編集会議のときに、一度お話をして、皆さん少しお話はされたかと思います。一応、ここに改めて意見が出ています。あのときは、まだこちらに振る前でしたけど、編集会議が先でしたのでお話をしました。同じ内容になるかもしれませんが、ここでもう一度議論していただけたらと思います。

大井淳一郎委員 可能かどうか分かりませんが、今は表形式になっていて、マル・バツとかあります。そうじゃなくて、表を賛成のセル、反対のセル、場合によっては棄権とかのセルもいるかもしれないけど、分けたらどうですか。個人別に、名前だけで、フルネームでいくとスペースがあるから、そういう分け方はできないかなと思って。そうすれば、誰が反対したんだろうとか、誰が賛成したんだろうと市民が見てくれるので、そう

いう分け方、マルじゃなくて、誰が賛成、誰が反対……表があって、賛成の表、反対のセルを使って、賛成は誰、反対は誰だと名前を書いて、議案名は左ぐらいいあるんやろうけど……（発言する者あり）今はマルだけでしょう。何議員が賛成したか、何議員が反対したかという分け方がいいんじゃないですか。そうすれば字が出るので、大きく、今のマルよりは見やすくなるかなと思ったんです。実際にやってみて本当にどうかというのは、僕も今言っていて分かんないので、検討の余地はあるかと思えます。賛否の形式がこれじゃないといけないとかは、特にないですよね。

中岡英二委員長 今、大井議員から、今までの議決結果の表示の仕方を変えたらどうかという御意見がありました。

笹木慶之委員 皆さんにお尋ねするんですけど、「裏面のお知らせや議決結果を大きく表示してほしい」という思い、狙いは、何がいけないからなのか僕はよく分からないんです。強いて言えば、今、大井委員が言われた賛否が分かれた部分以外にはないということなんです。だから、何を意図しておられるのか分からんから回答が難しいなと思う。ただ、マル・バツでよく分かると思います。分からんのかな。問題が分からないと答えにならんじゃないですか。小さいのかなこれは。

福田勝政副委員長 議決結果を大きく表示してくださいとありますが、言い方が悪いですが、目の少し悪い人がいるじゃないですか。お年寄りとか、モニターかな。結果を裏面の後ろ、大きく左右して、普通に恐らく目の不自由な方……

笹木慶之委員 今後、しっかり検討していきますということで、本当にしっかり検討していかんと分からないじゃないですか。いろんな角度でしっかり検討していきますと。

中岡英二委員長　それでは、先ほども出ましたけど、裏面をカラー云々と変えていくという案もありましたから、確かに見にくい部分をしっかりと検討していくという笹木委員の御意見でよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）「議会だよりも、議員が働いている写真、一般質問をしている写真があるとよい」については、先ほどから出ている表紙の話だと思うんですけど、先ほどの話合いの中にありましたので、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それと、1ページの追加で今日出たモニターからの意見について……中学生による本会議の傍聴に関して、「傍聴した中学生にアンケートをするなどして、意見をしっかりと集約して市議会に反映させてほしい」という御意見が出ております。

大井淳一郎委員　もちろん、これを言われた方はアンケートしてはどうかと進言をされたと思います。私たちは、今、アンケートはしておりますので、「実施している」ということと「意見をしっかりと集約して反映するよう努めてまいります」という回答になろうかと思えます。

中岡英二委員長　御意見でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、「市内の中学校や高校に、この活動を広げてほしい。そして、若者の意見をたくさん聞き市議会に反映してほしい」という、広報特別委員会のところは「市内の中学校や高校に、この活動を広げてほしい」という御意見が出ておりますが、委員会として何か委員の方から御意見はありますか。

大井淳一郎委員　この方は恐らく、今回、高千帆中学校だけというイメージで言われているかと思えます。ただ、実際には全市内の中学校がオンラインで見て、中学校側の好意で見ていただいております。広げていく取組はしております。高校はまた話していかなきゃいけないので、一概にも言えませんが、数を広げてほしいということで、実際に活動を広げることについては、貴重な御意見として承りますがとしか……なかなか実際にやるとも、やらないとも言えないところがあるから、今後、議論して

いくことですね。以上です。

奥良秀委員 この御意見を出された方がどういう方か分からないんですが、広報特別委員会を見られたらお分かりになるように、当初、広報特別委員会では、主権者教育をもとに市議会の仕事等々を見ていただくか話をする中で、中学３年生が最初に出たわけではなくて、中学３年生が出たときには、高校生がいいんじゃないかとか、いろんな意見が出たと思います。その中で、広報特別委員会の中では中学３年生を対象に主権者教育の一環として、一般質問を見ていただくということを決められたと思います。そうであるならば、そのような趣旨の回答をしていただければいいのではないかと思います。ですから、広報特別委員会では、中学３年生を対象に行っていますよね。であるならば、今からも中学３年生を主体として進めていく方針で今固まっておりますので、そのようにお伝えしていただければいいのかなと思います。

笹木慶之委員 今、奥委員の言われた、この件でいいと思います。ここであえて高校っちゅう言葉が出ておりますが、高校は行政の管轄範囲が違いますから、県教委ですから、なかなか私たちが話をするという立場にならんだろうと思います。だから、中学校はできますけど、私も実はほかの団体で高校で講演することがあるんですけど、そちらのほうから依頼があった件なんですよね。こちらが頼むことは市議会とすれば難しいんじゃないかと思います。だから、それを踏まえて、中学校という形でやっていますから、奥議員が言われた形をもってお答えすればいいんじゃないかなと思います。

奥良秀委員 なぜ、中学３年生を始めたかというところを説明してあげれば、分かっていたのかなと思います。

中岡英二委員長 なぜ、中学３年生を対象にしたかということの説明すればいいということですね。今、委員会としては高校生とか中学生の話が出た

けど、中学3年生の公民の授業の一環としてやるということで、中学3年生を傍聴に呼んだということによろしいですか。

奥良秀委員 それと、広報特別委員会の中では、これを中学3年生、全市的に広めていくというお話になっていると思いますので、今回は高千帆中学校でしたけど、その他の中学生も今呼ぶ方向の活動になっておりますので、その旨も伝えていただければと思います。

中岡英二委員長 ほかに御意見はありますか。今の回答でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、「本会議場で中学生による傍聴を実際に見たが、とてもよい試みだと思った。内容をきちんと精査して、今後も続けてほしい」と。今、奥委員の中からもありますように、委員会としては継続していくつもりです。もちろん、きちんと内容も精査して、今後も続けていくということで御返答してよろしいですね。「一般質問の内容を中学生がしっかり理解できるように、事前にどのような勉強が必要かなどを先生方に詳しく聞いておくべきである」と。これに対する御意見はありますか。

福田勝政副委員長 中学生が伊場議員の一般質問を聞いていました。僕は、伊場議員の一般質問はレベルが高かったんじゃないかなと思うので、きちんと事前に、一般質問の内容は先生方に詳しく聞いておくべきじゃなかったかなと思うんですけど、ちょっとレベルが中学生には高いんじゃないかと思いました。

中岡英二委員長 副委員長から、前回の一般質問の内容が難しかったんじゃないかという御意見がありました。

笹木慶之委員 私は、この質問の意味がちょっと分からないんです。というのが、「しっかり理解できるように」、これまではいいんですよ。「事前にどのような勉強が必要なのかなど先生方に詳しく聞いておくべき」と

ありますが、「伝えておくべき」じゃないですか。先生方に何を聞くんですか。「事前にどのような勉強が必要かなど」は、子供たちのことです。事前にどんな勉強するのは子供たちじゃないですか。理解するために。

大井淳一郎委員 違っていたらごめんなさい。ちょっと意図がはっきり分かりませんが、恐らく課題として、例えば、今回伊場議員のチャットGPTでした。これをいきなり理解できないので、チャットGPTについて先生に詳しく聞いて、生徒がどのような勉強するかを聞いておけば中学生が理解しやすいんじゃないかということでは言われているのかなと思います。チャットGPTの質問を選びました。ただ、いきなり分からないじゃないですか。それについてどういったことを勉強したほうがいいのかと、先生に生徒が詳しく聞いてとったら理解できたんじゃないかという意味じゃないですか。広聴特別委員だから意味が……（発言する者あり）僕は今、推測で言って……

笹木慶之委員 そうだと思うんだけど、そしたら、議会が云々にならんじゃないですか。学校の問題です。だから、議会が答えるのはおかしいんじゃないですか。

大井淳一郎委員 ですから、付議事項2点目につながるころなんですが、中学生のアンケートを見ると、内容が難しかったということがあります。ただその一方で、一般質問、議運のところへ上がってきて先生に見てもらって選んでもらう時間がありません。ですから、その課題を克服するためにどうしたらいいかということで、私たちも当該議員に情報を発信するスピードを早めてもらう必要もあるし、先生側にも骨を折ってもらって、今回で言えば、チャットGPTについての予備知識を傍聴される中学生に発信しておけばよかったのではないかという課題があるのかと思います。

奥良秀委員　そもそもなんですけど、この一般質問を選ばれたのは高千帆中学校の先生なんですよ。（発言する者あり）先生が選ばれたんですよ。

（発言する者あり）どちらでもいいんですけど、先生でも生徒でもいいんですけど、そこでレベルが低いとか、高いとかという話には行き着かなくて、これを選ばれたのであれば、事前に勉強されているのが筋だと思います。この質問をされている方が言われている意味はよく分かるんです。勉強しなくてはいけないというのは。ただ今回、中学3年生がなぜこの一般質問を選んだかというのはまず説明してあげないといけないと思います。その中で、レベルが高いのであれば、どういうふうに勉強したほうがいいのかということにつながっていくと思うんですけど、そもそも一般質問は行政のいろいろなことを議員が一般質問する内容なので、「しっかり理解できるように」というところが、私もこの質問が理解できないところがあります。一般質問では、いつから勉強していただいて、どこの定例会で一般質問を上げるのか、すごいスケジュールの長い話になっていくと思いますので、それが当市議会の一般質問の今のスケジュールに合うのかなというところが、ちょっと疑問に思うところです。

森山喜久委員　実際、この度の一般質問の内容、このとき傍聴は19日月曜日だったと思うんですけど、木曜日には当該議員が一般質問の資料をつくって、各中学校に事務局から送ってもらっています。ただ、それを周知する時間とかが足りなかったという指摘であれば、できるだけ十分な時間を確保するように努めたいという表現にもなるんでしょうけど、現在、こちらのほうも当該議員の一般質問の資料を配付して、理解してもらうように努めておりましたという趣旨の内容が回答になるのかなと思います。モニターの意見と全てマッチングはしないかもしれませんが、あくまで取り組んだ内容を説明して、回答していったほうがいいのかと思います。

中岡英二委員長　今、森山委員が言われたように、今まで当委員会として取り

組んできたことを詳しく説明するのが答えじゃないかという御意見なんですが、それで御回答してよろしいですか。

奥良秀委員 次回の中学3年生に、選ばれた一般質問がどれだけ説明できているかと言ったら、それはなかなか難しいのかなど。全て一般質問の趣旨がこうで、こういったことが問題だと全て分かってもらえると言ったら相当な時間がかかるのではないかなと思われま。ですから、この場合、本当に今後も続けていくので、「続けていきます」と最後はなるのかなど。「御意見いただいたものを検討しながら、よりいい方向に続けていきます」とぐらいにしかちょっと書けないのかなど。本当に中学生3年生が100%、一般質問の内容が分かりますよという形まで持っていくのは、なかなか難しいのかなと思います。

中岡英二委員長 今、奥委員が言われたように、全て理解するというのは難しいですけども、その辺が分かるようにできるだけ努力していくという委員会の考えでよろしいですか。（発言する者あり）中学生が全てこの一般質問の内容を理解していくのは、かなり難しいことだと思います。しかし、中学生の皆さんが理解できるように委員会としてできるだけ努力してまいりますという返答でよろしいでしょうかということです。

中村議会事務局次長 この文章を読む限りは、恐らく、一般質問の内容は中学生がしっかり理解できるように、事前にどんな勉強が必要かなどを先生に詳しく聞いておくべきであるということなので、議会側に問いかけているんです。この方は。そういうことができるように、事前にどういった資料を準備してあげたらいいかを先生に詳しく聞いておくべきではないかと議会に問われているんじゃないんですか。この文章を読むとそう見えます。だから、議会として何かを準備してあげて、事前資料とか、そういう打合せを事前におけばよかったんじゃないかという問いかけに見えます。なので、それに対する回答になってないとちょっとおかしいんじゃないかなと思います。

中岡英二委員長　それでは、今回のこの中学生傍聴に関する事務局との話合いとか、委員会との話合いの現状を報告していただけますか。

若野議会事務局庶務調査係書記　事前にどのような資料が必要かというのは、学校側と事前に調整して、一般質問の内容が分かるものを、できるだけ早めに提供いただけたら学校側でもそれを生徒に伝えられますということは、学校側と話しておりました。ただ、一般質問の資料の提出が一般質問の前日の正午までが期限となっておりまして、今回は伊場議員を学校が指定したので伊場議員には選ばれた旨と資料を作成していただきたい旨を伝えておりました。提出自体も締切りより前の15日木曜日には出ていたんですが、その日のうちに送付しましたが、次の日に学校側も行事があったみたいで、生徒に説明の時間を設けることができなかったということでした。なので、先ほど森山議員が言われたように、こちら側としても資料提供をなるべく早くするように努力する対応ぐらいしか……今回の反省点としてはです。あと、次に一般質問される議員の資料の作成を、その議員に協力していただかないといけないことがあろうかと思えます。以上です。

中岡英二委員長　今回の反省として、やはり言われたのは一般質問の内容を2日前に渡したけども、それを深く検討することができなかったと。委員会としては、できるだけ一般質問をされる方をお願いして、できるだけ詳しい資料を今後出していけるように、時間的なものもありますけど、努力していくという御回答でよろしいですか。今、事務局が言われたのはその辺かなと思えますけど、どうですか。ほかに御意見がありますか。

笹木慶之委員　そういう回答をすれば無難かもしれませんが、果たして大丈夫かなと思えますけどね。だから、やはりもう少し精度を高めた、しっかりした議論をするということをおかないと、単純に議会は努力しただけで済まないんじゃないかなと思えます。というのが、学校側

が一般質問を聞く時間を指定されたりすると、それで時間が足らなくなるんじゃないですか。だから、いろんな問題を含めて、今回のそういうふうな反省に立って、やっぱり、しっかり検討していくというような形でないと、短絡的に受けてしまうと難しくなると思いますよ。

中岡英二委員長 今の笹木委員の御返答でちょっと分かれていますけども、詳しく返答していくのと、具体的には答えを出せないからこれからはしっかりと検討していくという御回答のほうがいいんじゃないかという御意見がありますが、その辺はどうですか。委員の方の御意見があれば。具体的に返答するのがいいのか、これから努力してまいりますという言い方のほうがいいんじゃないかという御意見もあります。

奥良秀委員 最後のところで、「先生方に詳しく聞いておくべき」とあるんですけど、これがどの程度のものになるかというのが、私もちょっと理解できないところがあります。やはり、進めながら、制度をきちんと精査していきますというような感じにしておかないと、先ほど笹木委員が言われたみたいに、全てを進めていくのはなかなか今の段階では難しいのかなと思います。そのような回答をお願いしたいと思います。

中岡英二委員長 今の奥委員の御意見ですが、それで返答ということでもいいですか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

中村議会事務局次長 広聴特別委員会の書記として、もう一度こっちに帰ってくる予想しかないんですけど、どうですか。もうちょっとしっかりした結論を出しておいたほうが……今大井委員もうなずいていますけど、という気がします。

中岡英二委員長 皆さんどうですか。今、事務局からもっと具体的な返答をしないと広聴特別委員会からもう一度帰ってくるんじゃないかという意見がありました。委員会の中の話なんで、どうなんですか。（「暫時休憩」

と発言する者あり) 暫時休憩いたします。

午後 3 時 休憩

午後 3 時 4 分 再開

中岡英二委員長 それでは、委員会を再開いたします。「一般質問の内容を中学生がしっかり理解できるように、事前にどのような勉強が必要かなどを先生方に詳しく聞いておくべきである」という御意見が出ておりますが、この御返答として何か意見はありますか。

森山喜久委員 改めてになりますが、その該当の一般質問について事前に一般質問の資料を学校に配付しております。ただ、配付時期とか、タイミングの部分にタイムリーな問題があって、学校で授業としてすることもできなかったというのもお聞きしているので、そこについて早めに資料提供に努める等の反省点が出てくるかなと思います。ですので、改めて、市議会としては一般質問資料の提出は事前に行っておったということ、そして、ただそういった行為に対して、どういうふうな形が必要なのかを今後しっかり検討していきたいという内容の回答でよろしいかと思えます。

中岡英二委員長 今、森山委員の御意見のように対応しようと思いますが、よろしいですか。委員の皆さん。（「はい」と呼ぶ者あり）では、森山委員の御意見の方向でいきます。それでは、「議会に興味を持つことにより将来の投票率が向上すると良い。中学生の議会に対する意識調査を実施してほしい」について、御意見はありますか。

大井淳一郎委員 このたび、アンケートを取りまして、「一般質問を傍聴、中継視聴しての感想」、そして、「実際に生活の中でどのようなことに関

心がありますか」、「今後も傍聴とか中継を続けてみたいと思いますか」といったアンケートでした。ただ、今回、御指摘いただいている意見は中学生の議会に対する意識調査ですので、もう少し内容を精査して、実施するかどうかを引き続き委員会で検討していきますといった回答をしていくことになると思います。

奥良秀委員 あともう一つ、私たちがやったことで、高千帆中学校に行きまして、生徒会の方々と意見交換もさせていただいたということも載せていただき、少数ではありますが、中学生の意識調査の部分も多少はあると思いますので、そのことも書き添えていただければと思います。

中岡英二委員長 今回の奥委員と大井委員の御意見について、アンケート調査を行っている、もっと深めていくということ、その後一部中学生と意見交換会をしたということ載せていきたいです。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）「良い試みなのに、実施が少し遅過ぎたと思う。なぜ、遅くなったかをきちんと検証して、今後の議会活動に生かしてほしい」について御意見はありますか。

大井淳一郎委員 この方は、今回、いい試みだと思うけど、実施が今ほど出てきたのか、以前からやるべきではなかったかという意味だと思っております。うちの委員会では、この話が出てから実際に実施するまでは、かなりタイトなスケジュールでやっていったと思いますので、そこではないと思います。ただ、なぜこれまで出てこなかったかっていうことなのでしょうね。ただ、これは何とも言えないところがありますよね。検証してくれと言われてもね。

古豊和恵委員 これは、学校関係、教育委員会も含めて一緒に考えてやっていかないといけないことなので、我々だけで答えられる問題ではないのかなと思います。

笹木慶之委員 今、古豊委員がいみじくも言われたけど、まさにそのとおりだと思います。教育委員会、学校の対応があって、それらは三位一体となることができる問題です。このたびの取組がそれなりの評価を得たということは、ありがたいことですから、そういったことをしっかり踏まえて、今後もおっしゃられるようなことにならないようにしっかり取り組んでいきますということしかないです。

中岡英二委員長 それでは、笹木委員の今の御回答でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり） それでは、「小学生・高校生にも定期的に実施することにつながればよいのではないか」という御意見があります。

大井淳一郎委員 先ほどの「市内の中学校や高校に、この活動を広げてほしい」と同じような回答になるかと思います。

中岡英二委員長 今の回答でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり） それでは先ほどの回答と同じようにします。暫時休憩します。

午後 3 時 1 1 分 休憩

午後 3 時 2 0 分 再開

中岡英二委員長 それでは、委員会を再開いたします。引き続き、付議事項 2、今後の中学生を対象とした本会議傍聴について委員の皆様にご迷惑を……すみません。追加資料が出ておりましたので、そちらを話していきます。モニターからの意見で、「一般質問の音が聞き取りにくい。字幕があれば分かりやすいのでは」という御意見が出まして、聞き直してからの御意見は「今何を質問しているかといったテロップだけでも欲しい」ということです。

大井淳一郎委員 中継の技術的なことは分かりませんが、他の市議会を見る限り、「1、何とかについて」……議員の名前の下が上か分かんないですけど、もしかしたら議員の名前は隠れて、「1、何とかについて」、「2、何とかについて」というテロップはあるのは見たことがあります。うちの市議会は宇部市と同じような中継システムを使っているのも、もし、宇部市ができていたらばうちもできるかと思います。

中村議会事務局次長 システム的には可能と思います。今、想像している範囲の話ですけども、事前に質問の内容を入力しておいて、ボタンで表示するというやり方が可能かもしれません。ただ、現在、下段に質問者の名前が出て、左上に一般質問が出ています。となると、右上に……質問の内容の長さによるのと、それがスライドするのかなど、その辺りもありますので、現時点で正確なお答えできませんが、検討の余地はあるかと思います。システム的に相談が必要かと思います。

大井淳一郎委員 今、思い出したんですけど、ある市議会は、何とか議員というのが隠れて、そのスペースに「1、何とかについて」とかいう項目が入っていたと思います。入力チェックをされるということですので、もちろん両方入るのが一番いいんですが、もし項目に差し替えるなら、それもあかなと思います。以上です。

奥良秀委員 テロップを入れて見やすくというのはよく分かります。一般質問を最近の詳細にとなっておりますので、それを全て入れるのはなかなか難しいかなと思います。何々について、例えば、保育についてとか、そういった簡単な言葉でくくって入れるしかないのかなと思うので、技術的にできるのであれば、そういうふうにしていければいいのかなと。ただ、顔と名前が一致できない場合はどうかなというところがありますので、議員の氏名に関しては入れたほうが私はいいと思います。

大井淳一郎委員 先ほどの補足なんですけれども、何とかについてというのは、

恐らく大項目になるかと思えます。(1)何とか、(2)とか、どんどん展開していくわけですが、それを全て網羅するのは難しいと思えますので、何とかについては大項目ということで事務局も確認していただければと思えます。名前を入れたほうが良いというのは奥委員と同じ意見です。以上です。

中岡英二委員長 ほかに御意見はありますか。(「なし」と呼ぶ者あり)それでは、今言われたように、技術的に可能であれば、できる限り対応していくということよろしいですか。(「はい」と呼ぶ者あり)「自動文字起こしを活用したことがあるが画像が字かどちらかが映りが悪くなる」という御意見があって、聞き直してからの御意見として、「自動字幕の事です。質問者名が分かるテロップだけでも欲しい」と。これは先ほどの御意見の中で、質問者の氏名ぐらいい入れたほうが良いということなので、技術的に必要であれば入れたほうが良いんじゃないかなと思えます。これは先ほどの御意見もありましたけど、どうですか。

奥良秀委員 これはどこの部分の画像かはよく分からないんですけど、例えば、最初の質問である一般質問であれば氏名は出ていますよね。「質問者名が分かるテロップだけでも欲しい」と書いてある趣旨が……テロップは出ていますしかないのかなと。

中村議会事務局次長 すみません、これは文字が足りないところが確かにあるかと思えます。恐らくこれは委員会のことであろうと思えます。ユーチューブ中継のときに、自動字幕があるのは確かです。意見交換会のときに、画像をきれいにすると文字が遅れて出る、文字を優先にすると画像が悪くなるというような御意見でした。それであれば、最低でも「質問者名が分かるテロップだけでも欲しい」という御意見で、多分一番目の意見と、最終的には同じ帰結になりました。一番上は一般質問のことなので本会議で、この2個目の点については委員会においてもこういうことができないだろうかという御意見だったと広聴特別委員会の書記と

しては理解しております。

大井淳一郎委員 今事務局からの御説明がありましたけど、これは一般質問ではなく、委員会での委員の氏名のテロップだということなんですが、その辺は技術的には可能なんですか。

中村議会事務局次長 委員会においては、なかなか難しいというか、はっきり申し上げるとできないとっていただいたらいいです。現在は委員会が始まる時に書記が後ろでその都度、再開、中継ボタンを押しています。そのときに左上に委員会名を出すまではしています。これはテロップなので、できなくはないんですけど、もう1人書記を張りつけて、ここで常に、例えば、奥委員が質問されているときに、その瞬間にここでテロップを入れれば可能ではありますが、タイムラグもありますので、なかなか入れることはできても、技術的には大変難しいのではないかと思います。

中岡英二委員長 今の事務局のお考えを聞いて、御意見がありますか。

奥良秀委員 今のお話を聞くと、技術的にも、人的なことに関しても難しいのではないかなと思います。ですから、そのような趣旨で御回答いただければいいのではないのでしょうか。

中岡英二委員長 今の奥委員の御意見でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）そのように回答させていただきます。「一般質問で議員と執行部のやり取りのリンクがあって飛べるようにしてもらいたい」、それと「ひも付けができれば見たいときに見られるので、お願いしたい」と。この上記2点について聞き直して意見を伺いました。「ホームページとYouTubeの相互リンクなどをしては。例えば、備考欄に説明を表示する。説明してあるページに飛ぶようなリンクを張るなど、若者に興味を示してもらうためにも、提供する側の姿勢として見やすく提供してもらいた

い」という御意見が出ております。

大井淳一郎委員 申し訳ないけど、ちょっと意図が分からないので、分かる範囲で、事務局でお答えしていただけますか。

中村議会事務局次長 ユーチューブに概要欄というのがあります。以前も意見が出たかもしれませんが、議会報告動画がありまして、総務文教常任委員会、民生福祉常任委員会、産業建設常任委員会と並びがあります。総務文教常任委員会が何分から始まる、民生福祉常任委員会が何分から始まる、産業建設常任委員会が何分から始まるというCHAPTERを付けてほしいという御意見がありました。それと同様の意見で、その備考欄に、例えば、総務文教常任委員会であれば、そのときに使っている資料のところにユーチューブのページから行けるようにしてほしいという御意見です、このリンクを張るというのは。それ以外にも、本会議のインターネット中継の議案や本会議録がすぐ見られるようにしてほしいという御意見もありました。そういう面も含めて、映像を見るだけじゃなく、それに関連する資料や記録がすぐ見れるようなリンクを張ってほしいという御意見です。本会議、委員会それぞれそういう御意見です。

大井淳一郎委員 概要欄を活用ということであれば、今の次長の言われることは理解できます。委員会であれば、議案ごとに、議案第何号は何分から、議案第何号は何分からと飛びやすくすれば、興味ある議案にすぐ飛ばす。それに関連する資料のPDFファイルのページをリンクに張ることができれば、そこにPDFが出てきます。それをウインドウを分けて、資料を見ながら委員会中継を聞くということが可能だと思いますが、事務局は大変だと思います。ただ、事務局の手間を考えずに言えば、そうやってできるのかなと思います。ライブでは難しいので、どうしても事後的になるでしょうね。実際にライブ中継のときは無理だけれども、後で概要欄に何分からどの議案、この資料はこのページをたたけばPDFに飛ぶとかいうのは、多分、後から、オンデマンドで見える場合にはでき

ると思いますが、ライブでは難しいかなと思っています。難しいという
か無理です。

中岡英二委員長 私もよく分かりませんが、事務局、技術的には可能なん
ですか。今言われたこと。

中村議会事務局次長 イエスかノーかで言えば、可能です。大井委員がおっし
やるように、少し事務局に時間が要りますが、委員会で決めて……とは
いえ、一旦議会運営委員会か何かに出すべきなんですか。いきなり広報
特別委員会で議会全体のことというのが可能なのか分かりませんが、
議会の中で決まれば事務局は対応することになると思います。（発言
する者あり）先ほど言ったように、委員会はユーチューブの話なので事
務局内でできるんですけど、本会議は議事録センターに依頼しないとで
きない部分があります。今、多分確認したんですけど、回答待ちだった
ような気がします。ただ、本会議は映像が早くて4日後に上がります。
それから、例えば、記録を載せるにしても、記録が早くても1か月から
約3か月かかりますので、事実上、動画を4日後に見れてもリンクする
としたら議案しかない。しかも、本会議中継が終わっている。さっきオ
ンデマンドというお話あったと思いますけど、後から見られる方には対
応は可能かと思っています。その技術的な部分については、議事録センター
に確認中です。委員会については恐らくできます。

中岡英二委員長 今、事務局の御返答ですけど、委員会としては対応ができる。
本会議としては対応が難しいんじゃないかという御意見がありました。
（発言する者あり）本会議は確認中ということです。これは委員会とし
てどのようにして対応していきますか。しかし、本会議の対応であれば、
やはり議会運営委員会で話していかなきゃいけないんですか。何か御意
見はありますか。

笹木慶之委員 今、ここで具体的な対応策が答えとして出せますか。出せない

んじゃないかなと思います。したがって、技術的な面も含めて諸課題がありますので、これらを含めてしっかり検討していきますということぐらいでないと、本会議の問題はやっぱり議会運営委員会に関係してくると思いますよ。広報特別委員会だけじゃないだろうと思います。諸課題があるから、今、ここだけで解決できないじゃないですか。それに加えて技術的な面もあるから、それらを含めた回答しかないと思います。以上です。

中岡英二委員長 皆さんよろしいですか。笹木委員の御意見で。それではモニターからの意見は以上で終了といたします。引き続き、付議事項2、今後の中学生を対象とした本会議傍聴について御意見を頂きます。暫時休憩します。

午後3時38分 休憩

午後4時11分 再開

中岡英二委員長 それでは委員会を再開いたします。付議事項2、今後の中学生を対象とした本会議傍聴について、皆さん資料2を御覧ください。これは市議会を傍聴された、中継を視聴された方のアンケートです。そのアンケートを見ながら御意見があれば、お聞きします。

大井淳一郎委員 この事業を今後も続けていくかどうかということの一つの基準になるかと思っております。アンケートがありました。詳細に生徒、教員で忌憚のない意見が上がっております。一番分かりやすいのが、問3にあります「傍聴・中継視聴について、該当する項目」ということで、「今後も傍聴・中継視聴したいと考えますか」というところが一つの参考になるかと思っております。傍聴、中継視聴したいというのが57%に当たる86人、そうではないというのが42%、64人、無回答が2人とい

うこととございます。当然、この中に傍聴した人、中継視聴した人の内訳は書いてありませんが、一概にも言えませんが、少なくとも、以前、高千帆中学校の生徒会等は傍聴された方と意見交換をした限りでは、肯定評価が多かったことから、中継視聴した人の少なくない人数が割と否定的な評価、あまり視聴したくないという評価かと思えます。それに対してまして教員では4人と2人ということで、6人中2人の方がどちらかというとな否定的な評価ということで、その理由も次のページに書いてあります。効果が市民にどのように還元されているか不明である。専門用語が難しく、内容が難しいといった評価があります。この生徒、教員の評価を踏まえて、今後これを続けていくかということは、今から議論していかなくてはいけないかと思っております。以上です。

奥良秀委員 私もこのアンケートを見て、肯定的な意見もあれば、否定的な意見もある。また、本当は主体的に進めていかなくちゃいけない教員の方においても、そうでない意見があるのには少々驚きを感じております。やはり、今回この内容、生徒の意見を見る中には、議場に来てこういうところでやっているんだというような議場の感想であったり、雰囲気であったり、そういった感想が多かったのかなど。本来、私たちが目途としていることは、主権者教育、山陽小野田市の市議会、もしくは市政がどうしているのかを見ていただき、来る18歳のときの選挙権まで行くかどうか分かりませんが、に興味を持っていただくのが目途だったと思います。それからしてみると、少し方向性がどうなのかなというところがあります。だから、その辺をもう少し精査していただければいいかなと思っております。以上です。

森山喜久委員 実際に、この度は教育委員会が提案してきた高千帆中学校生徒の13人で、残りの生徒はリモートで見たということで、温度差は実際にあったのかなど。ただ、実際に傍聴した生徒の意見は、先ほど3番を中心とした中で、臨場感があつた、よかったという意見が多かった。そして、73番に「実際に僕は傍聴したと。昨年参加した中学生議会の雰

雰囲気とは一味違う雰囲気です。率直におもしろかった」という意見もありました。やはり来ることによって興味を引き出すということもあるので、こういった取組は単発ではなくて継続して行っていくという前提条件の中で、また話を進めていっていただきたいと思います。

中岡英二委員長 御意見はありませんか。アンケートを見て、感想なりを3名の委員の方が言われましたが、ほかの委員の方はありませんか。

笹木慶之委員 子供たちのいろんな意見は、いろんな角度から、いろんな表現がされておりますから難しい問題ですが、賛否両論あったように感じます。ただ、私が気になったのは、教員という立場の中で、問題が提起されています。お2人の方が出られておる。お2人とも、例えば、「市議会の結果、どのように市が取組をして、市民にどのように還元されているのか不明なため」と書いてある。もう1点は、「専門用語が用いられ、内容の理解が難しい。内容ももう少し身近なものでやってほしい」という教員の立場からは、こういう意見をもらっているわけです。これらをどう受け止めるかの問題です。だから、先生方がそう受け止められれば、子供たちにとっては共通の問題じゃないかなと。ただそれが見えているかは別として、だから、やっぱりその辺りのことも踏まえた取組を考えていくべきじゃないかなという気がしています。ですから、言ったように、公民の授業の中では、国の仕組み、三権分立の仕組み等については、しっかり利用されていますが、地方議会については入っていないと思うんですよ。それについて、私たちが子供たちにそういったことの説明の機会もあっていいんじゃないかなと実は感じています。それは前回言ったとおりなんです、それらを含めた今後の活動も重要ではないかなと私自身思っています。意見として申し上げておきます。

大井淳一郎委員 今、笹木委員の言われた教員の否定的な評価ということについて、否定的という言葉は気をつけなきゃいけないんですが、貴重な御意見だと思っております。まず、二番目の「専門用語等が用いられ、

内容の理解が難しい。内容をもう少し身近なものであってほしい」というのは生徒側にも出ている意見であります。内容が身近なものを、別に中学生のために質問するわけじゃないんですけれども、選んでいただく際には、そのような理解していただくもの、あるいは質問する議員側も専門用語等、気をつけながら分かりやすい質問をしていくことは議員側にも求められるかなと思っております。一番目につきましては、今笹木委員が言われたように、主権者教育とも絡みますし、先ほど付議事項の一番目にも今出ましたように、市議会議員の仕事、仕組みとか、その辺がこの教員の方に限らず、市民、生徒とか児童に伝わってないということもありますので、そうしたものをしっかり発信していく。笹木委員が言われたような別の取組も含めて、私たちは今後考えていかななくてはならないと今聞いて思いました。以上です。

中岡英二委員長 ほかにありますか。なければ、このアンケートを見られて、今、4人の委員が肯定的な面もあれば否定的な面もあると。今までやってきたことに対して、もう一度、中学校、教育委員会と詰めた協議をしていきたいと思えます。委員長、副委員長、事務局で方向性を踏まえて、これからどういうふうな取組をするのがより学校のために、生徒のためにもいいのか話し合った上で、もう一度協議していきたいと思えますが、よろしいですか。

大井淳一郎委員 まず、やる、やらないもいいんですけれども、今回は高千帆中学校の生徒会という一つの中学校に絞りました。これをほかの中学生の代表を集めていくのか。あるいは、順繰りに高千帆中学校の次は、厚狭中学校とか、厚陽中学校とか、竜王中学校とか、どうするのかという……実施するのであればどのような形で広げていくのがいいのかも併せて協議していただければと思えます。最終的な決定はもちろん私たちの委員会ですけれども、そういったことも考えられ得る課題も含めて協議していただければと思えます。以上です。

奥良秀委員 あと、今、委員長が学校と生徒のためと言われたんです。私としては、生徒のためにが一番だと思いますので、生徒のために地方議会がどういったものか一番分かっていたきたいなというのは私の主眼でありますので、その辺もよく話し合いをしてもらって、カリキュラム云々等々あるかもしれませんが、当委員会が進めている主権者教育とはちょっと違うのかなというところもありますので、その辺はよく意見交換されたほうがいいのではないかなと思いますので、よろしく願いいたします。

中岡英二委員長 分かりました。そういったことを踏まえて、もう一度、教育委員会、学校、委員長、副委員長、事務局で協議を進めていきたいと思えます。それでよろしいですか。ほかに御意見はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）三つ目、その他がありますが、何か御意見ありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、広報特別委員会をこれで閉じたいと思えます。皆さんお疲れでした。

午後 4 時 2 4 分 散会

令和 5 年（2023 年）9 月 4 日

広報特別委員長 中 岡 英 二